

経営課題2 区民一人ひとりの生活に寄り添った福祉・健康施策の推進

【めざすべき将来像】

健康寿命を延ばし、一人ひとりがいきいきと地域社会の中で生活できるまちをめざす。
障がいのある方や高齢者の皆様などの居場所・持ち場をつくり、誰もが自分らしく、安心して
ともに暮らせるまちをめざす。

戦略2-1 人生百年時代の健康づくり

- ・医師会・歯科医師会・薬剤師会等区内の関
係団体と協力し、健康に関する興味・動機づ
けを行える催し（あさひ健康フェスタ）を開
催する。
- ・介護予防のため、「いきいき百歳体操」の
新規立ち上げなど、地域における自主活動を
支援する。
- ・当区実施のがん検診についてコロナ禍に
あっても感染防止に努め、1回あたりの受診
枠を従前に近づける。また、広報・啓発活動
を地域や医師会と連携して進める。

具体的取組

1 健康寿命を延ばす取組

戦略2-2 誰もが暮らしやすいまちづくり

複合的な課題のある要援護者や、深刻化す
るまで気付かれない要援護者等、対応の難し
い課題が増加している中、福祉関係機関や
NPO法人等と連携を強化するとともに、地域
住民への要援護者に対する理解や意識向上に
向けた啓発に努めながら地域住民とも連携し
て見守りや支援の体制を整える。

具体的取組

- 1 誰もが活躍できる仕組みづくりの推進
- 2 誰もが安心して暮らせる仕組みづくりの
推進
- 3 「あさひあったかバス」（旭区福祉バ
ス）の運行支援

17

経営課題2 区民一人ひとりの生活に寄り添った 福祉・健康施策の推進

戦略2-1 人生百年時代の健康づくり

具体的取組2-1-1 健康寿命を延ばす取組

指 標

あさひ健康フェスタの参加者に対するアン
ケートを実施し、「健康寿命を延ばそうと思
う」と答えた方の割合

目標値 70%以上

達成状況 未測定※

※健康フェスタの中止により測定できなかった

取組実績	課題や改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の広報（広報紙） 年間スケジュール保存版1回、月例9回 ・いきいき百歳体操 活動したグループ:全35 のうち17、参加者：250名 ・90歳以上の「いきいき百歳体操」参加者 表彰 7名 ・「いきいき百歳体操」及び地域活動における コロナの啓発活動 4地区実施 ・在宅医療・介護連携推進会議 総会1回、 他職種研修1回、啓発ビデオ作成、 定例会議2グループ×4回=8回開催 ・健康大学 1回(5日間コース) ・認知症予防プログラム 未実施 (継続グループ 2グループ15名) 	<p>【課題】コロナの拡大が繰り返される間は、集客型である 「健康フェスタ」の開催は難しい状況が続くため、密を避け るなどの感染対策の徹底と簡素化した形態での開催を追求す る必要がある。</p> <p>【改善策】コロナに関して、ワクチンの推進や治療薬、訪問 看護等の医療支援体制の整備を行う「旭区コロナ地域支えあ い訪問事業」の推進によりコロナの重症化や死亡を防ぐとと もに、ホームページや広報紙の媒体や在宅医療介護連携事業 等の活用による啓発活動を実施し、イベントを開催できる環 境づくりを進める。</p> <p>その上で、集客型の「健康フェスタ」については、分散集客 や入場制限等の感染拡大防止対策を講じることにより実施す る方向で調整する。</p>

戦略に対する取組の有効性

(一) プロセス指標未設定（未測定）

18

戦略2-1の成果指標

アウトカム指標の達成状況

健康意識の高まりを感じる区民の割合《区民アンケート》

目標 令和4年度までに83%以上



達成状況 88.8%



戦略のアウトカム指標に対する有効性

(ア) 有効であり、継続して推進

19

具体的取組2-2-1 誰もが活躍できる仕組みづくりの推進

指標

授産製品の物販等の活動をしている団体や事業所が、区役所からの活動支援に満足している割合

目標値 80%以上

達成状況 95.8%



取組実績

- ・授産製品の物販支援

区役所庁舎内及び「あさひあったかサテライト」における物販 区役所庁舎内月2回（計12回）、サテライト月1回（計6回）

※緊急事態宣言期間及び令和4年の蔓延防止等重点措置期間は中止

- ・「障がい者週間」（12月3～9日）における啓発活動

12月3日に千林商店街内の「あさひあったかサテライト」で障がい者の権利に関する啓発物を配付

- ・旭区地域自立支援協議会の主催により、区内小学校と区役所で障がいのある子どもと保護者のための「就学・進学なんでも相談会」（6～7月）及び旭区民センターで「和んで座談会」（12月4日）を開催

- ・旭区ホームページに旭区障がい者基幹相談支援センターのページを掲載

戦略に対する取組の有効性

(ア) 有効であり、継続して推進

障がい者福祉事業所の
授産製品販売



20

具体的取組2-2-2 誰もが安心して暮らせる仕組みづくりの推進

指 標

高齢者の相談機関「地域包括支援センター」
を認知している割合《区民アンケート》

目標値 55%以上

達成状況 52.2%

取組実績	課題や改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・広報あさひ9月号に、高齢者福祉月間特集記事として、地域包括支援センター等各種相談機関及び「お守りカード」、「旭区認知症安心ガイド」等について掲載した。 ・「お守りカード」を各連合町会に配布したほか、区役所・老人福祉センター・区民センター等に配架して普及に努めた。 ・「旭区認知症安心ガイド」を区役所や各相談機関、区内郵便局等に配架するとともに、より読みやすくなるよう改訂作業を行った。 	<p>【課題】「地域包括支援センター」の認知度は、昨年度（50.2%）と比べて増加しているものの目標の55%に達していないので、引き続き認知度を高めていく必要がある。</p> <p>【改善策】広報あさひや町会掲示並びに区内地下鉄駅掲示板等を利用して「地域包括支援センター」の役割を広く周知し、認知度を高めていく。</p>

戦略に対する取組の有効性

(ア) 有効であり、継続して推進

旭区認知症ガイド



21

具体的取組2-2-3 「あさひあったかバス」(旭区福祉バス)の運行支援

指 標

1カ月あたりの利用人数

目標値 平均4,500人以上

達成状況 平均6,296人



取組実績
区内交通アクセス確保のため、バス路線運行に必要な経費の一部の補助をおこない、年間を通じてバス運行を行った。(1日あたり10便(巡回))

戦略に対する取組の有効性

(ア) 有効であり、継続して推進



あさひあったかバス

戦略2-2の成果指標

アウトカム指標の達成状況

障がい福祉サービス利用者を対象としたアンケートの実施により
サポートする仕組みが整っており、暮らしやすいまちだと感じる割合

目標 令和4年度までに55%以上



達成状況 65.9%



戦略のアウトカム指標に対する有効性

(ア) 有効であり、継続して推進